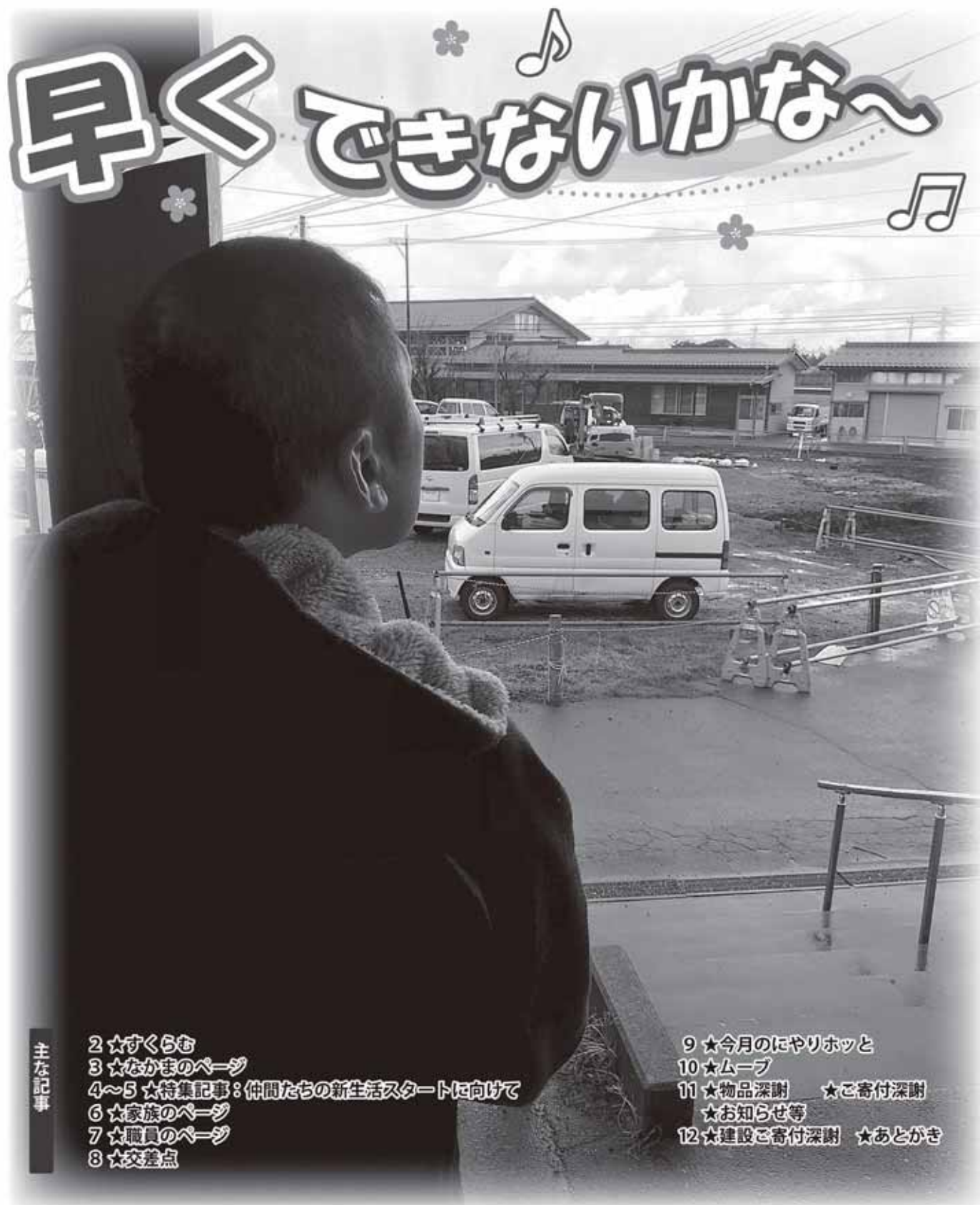


ハスの実だより

社会福祉法人
ハスの実の家
2 月号
2021 年・No. 473

〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2 TEL (0776) 78-6743 FAX (0776) 78-6744 Eメール honbu@hasunominoie.com



早くできないかな〜

主な記事

- 2 ☆すくらむ
- 3 ☆なかまのページ
- 4~5 ☆特集記事：仲間たちの新生活スタートに向けて
- 6 ☆家族のページ
- 7 ☆職員のページ
- 8 ☆交差点

- 9 ☆今月のにやりホット
- 10 ☆ムーブ
- 11 ☆物品深謝 ☆ご寄付深謝
☆お知らせ等
- 12 ☆建設ご寄付深謝 ☆あとがき



あくらむ



新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が出された昨年の春のことです。見えない新型コロナウイルスにおびえ町中が息を潜めて生活している中でも、ごみの収集等市民生活に不可欠な仕事は途切れることなく続けられていました。私の住む団地には毎週火曜の午後、空ビンの資源回収に市から委託されたゆたか福祉会・リサイクル港作業所が大型トラックで回収に来ます。仲間二人と職員一人でチームを組みテキパキと作業をこなしています。

ゆたか福祉会は一九八〇年代初めから、ビン・缶の再資源化作業を障害者の仕事として成立させる運動を名古屋市職員労働組合と共同で進めて来ました。リサイクル港作業所はゆたか福祉会の二番目のリサイクル工場として九四年に開設されました。ビンのリサイクル作業には選別、洗浄等多くの工程がありますが、収集車に乗って地域を回る仕事は仲間に人気のある花形の仕事です。

ビンの回収に行くわした日は仲間のIさんがいました。「元気にしとる?」「うん元気!」声をかけると

ニッコリ返事が返って来ました。Iさ

んはゆたか福祉会自治会連合会の会長を長く勤めています。一九年に五〇周年をむかえたゆたか福祉会の記念行事として「歌づくり」の取り組みをIさんが中心になって進めてきました。作詞をする私

仲間たちの隣には歌が

詩人 石黒 真知子

の元に一〇〇人近い仲間の作文「私のあゆみ」がドンと届きました。歌づくりの取り組みの中で仲間たちは言います。この一〇年間で仲間たちの仕事は大きく変わった、自主製品が無くなってしまった。

でもかつて頑張った仲間たちの体験は仲間の中にしっかりと根を張って育っている、仲間たちのあゆみは明日につながっている、そんな気持ちで歌にしたい。Iさんには「きょうされん大会愛知」(一九年)のテーマソング作詞で苦しんでいる時から「次はゆたか五〇周年の歌をお願いします」と言われていました。あんたはオニかあ!と思いつつもIさんの名プロデューサーぶりに舌を巻きました。仲間たちの願いを実現して行く時歌は大きな力になる、Iさんは言います。仲間たち、Iさんの思いをガッチリ受けとめて歌は完成しました。

しかしコロナ感染拡大の為に五〇周年記念行事は延期になりました。ウイルスに注意を払いながら暮らす厳しい日々が続いています。でも新曲「つなげよう明日へ」(原田義雄作曲)を仲間たちが大きな声で歌える日は必ず来る、負けないで元気でがんばろうね。遠ざかるトラックを見送りながらこぶしを握りしめていました。





2021





仲間たちの新生活スタートに向けて

〜まちどおしいユニット新ホーム！！〜



ホームの夢プラン

現在、ハスの実の家では「グループホーム大規模修繕等事業（第1期工事）」ならびに「保健・文化交流センター事業（第2期工事）」が行われています。第2期工事竣工後は、前12月号のハスの実だよりでお伝えしたように、ハスの実の家の敷地内に歌のステージ、ギャラリー、ものづくり工房などの創作・創造的空間が新しく誕生します。新しい環境の中で実践（仲間たちの「願い」を育て、カタチにしていく科学的実践）を深めていくための議論が、今も「夢プラン協議」として進められています。

「仲間たちが暮らしやすい

ホームづくり」を！！

さて、間もなくこの春に第1期工事が完了し、新しく生まれ変わったグループホームで仲間たちの新生活がスタートします。今年で56周年となるハスの実の家の歴史とともに、仲間たちもだんだんと年齢を重ねてきました。仲間たちがこれからも安心して暮らし続けられるように、必要な環境と設備が整備されます。今回のグループホーム改修にあたり、仲間たちの集団構成も見直される

ことになります。年齢、身体機能、障害特性に応じた居住ユニットを整備し、仲間たちが暮らしやすく、家庭的な雰囲気を持ったホームづくりを目指していきます。

「暮らしの場の再編

〜新ホームの様子をシリーズ化〜

現在、旧のぞみユニット、旧あおぞらユニットの改修工事が進捗中で、のぞみとあおぞらの仲間たちは他のホームに分かれて仮住まいをしています。長らく住んだ愛着のあるホームと離れることになり、不安や寂しさを抱えていた仲間もいたことでしょう。新しい暮らしを仲間たちと共有し、一緒につくりあげていくためにユニット仲間の会を開催しました（左ページ参照）。

年明けすぐに仮住まいのためのホーム移動があり、慌ただしい2021年の年明けとなりました。今年は工事が次々と竣工し、ハスの実の家にとっても特別な一年となることでしょう。本特集記事では、今後もしりすとして事業再編のトピックを掲載していきます。次回4月号で新ホームの各種機能について、次々回6月号では仲間たちの新ホーム生活の様子についてご紹介したいと思います。

（ホーム再編PT主任 野田真士）

昨年の12月8日（火）に保健・文化交流センターの地鎮祭が行われました。



地鎮祭



建設ご寄付お礼

ハスの実の家では法人認可時に建設した建物を「ユニット型グループホーム」として全面的に改修し、その隣地に「保健・文化交流センター」を新設しております。この事業に対して多くの皆様のご理解と御賛同を頂きながら工事が順調に進んでおりますこと役職員一同深く感謝致しております。今後とも障害のある仲間たち、家族、関係者の願いの実現にむけて引き続き精一杯努力していく所存でございます。今後とも宜しく御指導御鞭撻のほど、お願い申し上げます。



いいお部屋だね！！



新しくいいホームだね！！



「ユニット仲間の会」

ユニットの仲間の会にて 「仲間の「ねがい」を育てて」

仲間たちに、何故工事をしているのか、新ユニットホームが完成後はどこで生活するのかを伝えるため、12月5日に「ユニット仲間の会」が行われました。仲間の会では、仲間たちにイメージが付きやすいようにプロジェクターを使って説明を行いました。「いつから住めるの？」「いつ引っ越しするの？」などと少しわくわくした様子の仲間もいれば、逆に不安そうな表情を浮かべる仲間もいました。



大きい窓、僕の好きな車がよく見えるかな？



明るくて広いなあ！

今後は毎月仲間の会を開き、どのホームに住みたいか、新しいホームで何をしたいかなど、暮らしの場面で仲間たちの「願い」を育てていきたいと思っています。

年末には、すでに改修が済んでいる部分を仲間と職員で見学に行きました。きれいな居室などを見て「きれいや」「広くていいね」「いつ入れるの？」と待ち遠しそうな言葉が聞かれています。明るい陽射しや木のおいなど、身体全体で温もりを感じられるホームだと思いました。

（黒川紗津貴）

家族のページ

～仲間への想い～



節子さんと一緒に



笑顔いっぱい!!

お母さんより ひよこちゃん

西山 いづみさん
(侑里さん母)

お母さんより

侑里とハスの実の家との出会いは特別支援学校の小学部に入学した年の夏休みだったと思います。長期休暇で利用をさせて頂いていました。

現在は 22 歳になり、紙すき班でお世話になっていきます。

7 カ月の乳幼児健診で障害があることがわかりました。すぐに服薬治療が始まり通院とりハビリの日々でした。宮崎村までマッサージにも通いました。長距離だったので「おかあさんといっしょ」の歌を聞きながら、それで音楽とドライブが大好きになったのだと思います。

幼児期までは発熱時にけいれん発作が長時間続いてしまうため救急車で搬送された事も何度かありましたが成長と共に発作も薬の服用もなくなりました。

小さい頃は水遊びが大好きだったので夏休みのハスの実の家の利用日にはプールや水遊びを取り入れていただき、いつも水着を持参して通わせていただいていたことを思い出します。

最近の出来事ですが「童謡が聞ける絵本のボタンを自分で押して聞くことができるようになりました。ひとつずつできることが増えていくといいなあと思っています。

音が鳴るおもちゃも大好きで、音楽を聞

きながら水やビーズが入ったペットボトルをフリフリ、身体を揺らしていつも汗だくです(笑)

落ち着かない時には仲間が歌を歌って下さっているようで本当にありがたいです。

親子共々、多くの方々のご支援に助けられており感謝の気持ちでいっぱいです。

仲間の皆さん、職員の皆様、手のかかる侑里ですが、これからもよろしくお願い致します。



楽しい雪遊び

班職員からの一言

毎日わくわくセンターに来所されると西山さんの周りには仲間が自然に集まってくるます。

大好きな歌を口ずさんでくれる仲間。自的にお手伝いをしてくれる仲間。ただそつと寄り添う仲間。そんな仲間と一緒に大好きな歌や音楽を笑顔と体全体で表現している西山さんから私達職員も笑顔と元気をももらいます! これからもワクワクするような事を楽しんでいきましょう!

職員のページ

【所属】 ハスの実わくわくセンター
生活支援員

黒坂 明記



2019年10月に生活支援員として入社し、最初の5か月間はリサイクル班に在籍。その後、現在のウエス班の職員として10か月が経ちました。

私は子供の頃から人を笑わせるのが好きで、また、人が笑っている顔を見るのがとても好きです。この性格は今も変わっていません。私は、わくわくセンターで働くまでは金融関係と物流関係でしか働いたことがありません。

未知の分野で15か月間働いて来て感じている事、それは、さまざまな場面での仲間への生活支援のあり方。それが「これでいいのだ。」と思う事もあれば「これでいいのかな。」と迷う時もあります。また、私の仲間に対する接し方が他の職員から見て、少し乱暴だと思われていないかななどを心配する事もあります。

このように何とも頼りない私の仕事振りですが、仲間が笑ってくれれば、とても嬉しくなり、この事が仕事へのモチベーションの原動力になっていると思っています。



【所属】 地域生活支援センター
管理者

南 美由紀



秀幸さんが書いた
南の似顔絵です
😊

障害のある人を身近に感じたのは、自動車学校勤務で聴覚障害の姉妹を担当した時でした。意思疎通は筆談で必死に対応した事は今でも鮮明に覚えています。もっとスムーズに伝える事ができたら、思わず手話の本を購入し五十音から覚えはじめた頃には卒業。少しも活かすことなく別れる事になりました。それから数年後、知的障害の男性が毎日元気に働く姿を目の当たりにしたとき、私もこんな風にいきたいと思えたと転職。ハスの実の家に入職する事になりました。関われば関わるほど「なに？なに？」と思う事、「へえ～」と納得する事、発見の多い毎日でした。しかしどうしても毎月の職員会議の情勢報告は理解不能でついていけず、福祉専門用語や国会の動き、毎回社会科の授業を受けている状態で今思えば拒否反応も強く出ていました。その中、会議後に補習のように説明してくれた先輩職員がいてくれ、ついていけない私に入浴介助中や夜勤など仕事をしながらたくさん話をしてくれました。何事も理解するのに時間がかかる私にたくさん話してくれたことが今の自分になっていると感謝しています。そして、初代理事長の「おまえだけ特別ではない、みんな同じ円周の中で生きている」の言葉でもがんばれています。これからも関わったたくさんの仲間（利用者）・家族・後援会・職員・多くの人たちとのつながりを大切にしていきます。

交差点 後援会

久しぶりの フラワーアレンジメント教室開催

12 月 13 日(日)、地域生活支援センターにおいてフラワーアレンジメント教室を開催しました。新型コロナウイルス感染予防対策として、2 部制とし、計 36 名の方にご参加いただきました。クリスマスの雰囲気に合うお花とラッピングで、思い思いに飾りました。また、先生と参加者の方が同級生で、何十年ぶりかの再会をするという出来事もありました。コロナ禍ではありますが、やはり人が集って、一緒に何かをするということは、生活に刺激や新たな経験をもたらすものだと思えて感じさせる会となりました。

コロナ禍で様々なことが制約を受けていますが、諦めるのではなく、工夫して乗り切らないと何も始まらないので、後援会として、どのような活動ができるのかしっかりと考えていきたいと思えます。



継続会員・新入会員の皆様です
ありがとうございます

12・1 月度

*印は新入会員の皆様です。順不同、敬称略。

- あわら市 小泉マサ子・坪田和江・中村恵子*イロトリ鶏*永岡千代子
*三橋正幸・伊藤啓二・三上和夫・三上芳江・嶋野泰代・八木秀雄・
児玉富久子・中谷ふみ子・株式会社サカノデンキ*吉田静江・
橋内弥生・松岡飛鳥*三井了太 (IPPO) *三宅明美 (もんや)
*喜納マキ*藤田久男*宮崎昭子*海老田涼*藤共生・金本春泰・
美濃達也・木戸喜代枝*折原弘嗣*ブレーンズバック株式会社
坂井市 森瀬敏満・西澤朋子・服部季子・石黒政子・見神正美*端明篤
*竹内八恵美*吉川裕美*松本朗*真柄洋子*高橋行子・辻ゆり子
*山上初子*山上直美*辻顕造*西村典子*三崎和夫*小島理恵・
新開典子・吉川悦子・岡部政江・滝口裕子・中村雅子・池田記代至・
尾田真奈美・加藤澄子・酒井英子・近藤じゅん子・市橋由紀恵・匿名
福井市 鷹川勝彦・木戸幸枝・能美防災株式会社福井営業所*秋山絹枝
*寺島将則*奥出次兵衛*奥出菜津*特定非営利活動法人くまっこ
クラブふくい*小林電工株式会社*小川清江・伊藤美代子*山野寿一・
渡辺登美子・南えり子・庄野康子・山川幸三・岸水寿美江・加藤赫子・
黒川ふみ子・塚谷晶子・松下圭介・片矢春美・西村明宏・松田直樹・
岸下淳一・長谷川まゆみ*中村まち子・吉田美弥子・中尾亨・
中川邦宏・合同設備工業株式会社・富樫清則・廣濱祥壺・廣濱洋子・
高島孝一
永平寺町 吉江成人・吉江ゆかり

- 越前市 中野真澄・内山 秀樹
大野市 *テンメリア・三橋静枝・
宮下真一・匿名
勝山市 *石井恵子
鯖江市 宇野功・宇野美恵子・
木村麗子*中道院
*山田聖倫
敦賀市 木寄精二・平川純子
石川県 河地直人*日樽建設工業
株式会社
兵庫県 金子明美*高島愛子・
渡邊研至・大橋千佐子・
坂口透・坂口君代
大阪府 *森暁子*島林かよ子・
川端多津子
滋賀県 小林桂子・丸橋二三子
京都府 江口昇・竹林英子・
藤本文朗・滝正導・築岡円
北海道 藤井力夫
東京都 比企通男・白崎国際特許
事務所

今月のにやりホツと



言葉って何だろう。?



～なかまと過ごす日々の気づきから～



ハスの実の家に就職し早1年9か月、紙すき班の毎日なかまたちと、ワイワイガヤガヤにぎやかに過ごしている私ですが、今日は私に一番多くの気づきをくれたなかまの話をしようと思います。

彼は、「アーっ」とか、「ウーっ」とか、「ウワーっ」とか、言葉にならない言葉話す、ひたすら歩くことが大好きで、時には掲示物のテープをはがしてコネコネすることが好きで、好き嫌いがなくごはんが好きで、昼休みには班のなかまとソファでまどろむ時間が大好きな方です。

入社当初の私の仕事は、歩く彼に寄り添って、時間を見てトイレの誘導、食事の介助でした。トイレについては、ご家族から「トイレはいきたくになったら自分でトイレにいきますよ。」とお聞きしていたものの、半信半疑だったことを覚えています。

しかし、一緒に過ごす時間が増えるにつれ、彼にはたくさんできることがあること気づきました。

トイレに行きたいときは、ズボンに手をかけて近くにあるトイレに自ら入っていくこと、手洗いするときは、蛇口の栓を開めてくれること、食事のときは、準備ができるまで待ってくれること、また、最後の一粒まで残さずに

食べること、活動の時間は、なかまの乗った車椅子を押してくれること、畑に行けば、コンテナや一輪車を使って草運びをしてくれること等々。職員からお願いすることも多く、それがお仕事になってしまうと、洗い顔を投げてしまうこともあります。この気づきは、その後、彼と私たち職員との関係を大きく変えることになりました。

このような小さな気づきの共有を職員同士が重ねてくうち、彼が体を『揺らす』という行為を通して、周りの人に自分の意思を伝えているのではないかという仮説が生まれました。関わりを持ちたい人の前に立ち、ゆっくりと体を揺らす。そして「してほしいことがあるよ」と、相手の手を掴んで指し示すのではないかというものです。

それはこんな出来事から生まれました。彼が備品庫のそばにいた職員の前に立ち、（備品庫の中に用事があったのか）ゆっくり揺れている。そして職員の手を取り、職員が下げている鍵をその手に持たせ、鍵穴に刺すよう示したというのです。そんな逸話を職員同士で話しているうちに、「彼は〇〇職員が好きだから、〇〇職員を見つけると、遠くにいても、そばまで行って、〇〇職員が気づいてくれるのを待っているよ。」という話も出てきました。

この出来事は、言葉だけが人と人をつなぐコミュニケーションツールではないことを、改めて教わるものとなりました。

このことを契機に、私たちは彼に『揺れて』もらえるような支援を模索し実践することが目標になりました。

かつて、先輩職員さんから、「見えている」と「見える」は別物だと教わりましたが、「見える」ということは、こういうことを言うのかもしれないと、今感じています。

生活介護事業所 紙すき班 小島理恵

友季さんと美咲ホーム



12月13日付「福井新聞」は、「～重度障害者受け入れへ グループホームで「親亡き後」も地域に～ 障害者福祉施設を運営するあわら市の社会福祉法人「ハスの実の家」が、グループホームで医療的ケアが必要な重度障害者の受け入れ準備を進めている。これまで受け入れ先は一部の病院に限られ、地域での生活は親が支えているケースがほとんどだ。今年3月に県会で「重度障がい者も人間らしい生活を営める社会であるべき」とする請願が採択された。「親亡き後」も地域で暮らせる社会の在り方が問われている（堀英彦）」との書き出しで、大きな友季さん親子の優しい写真と「地域で暮らし生きる楽しみを」の願いが紹介されています。



（福井新聞社 提供）

美咲ホームは、昨年1月に坂井市三国町の空き家を改修し開設しました。10年前、創立45周年中期5ヵ年計画として位置づけ、重度の障害のある人たちのためのバリアフリーホームを開設しようと計画されてきたものです。建物・土地の購入に併せ、エレベーターやリフト付き入浴設備、トイレの改修と多額な自己資金はその一部を、公益財団法人 車両競技公益資金記念財団が助成・応援してくださいました。新聞で紹介されると沢山の当事者・家族、事業所、行政の方からの電話や見学がありました。それでもまだまだ沢山のハードルを超えなければなりません。

「夜間にはこの子の息をそっと聞いていて欲しい」 制度基準には合わないけど、職員の宿直室と隣り合わせのその居室との壁を迷いなく取りました。医療的ケアが欠かせない友季さんに看護師の配置も準備しよう。

本格的な仕組みも、お金も、支える人も、ほとんどありません。あるのはみんながこの友季さん親子の小さな小さな、ごく普通で、素朴に、あたりまえの願いを、何としても叶えたいと思っていること。そしていま私たちは、行政、地域、他事業所も一緒にそれぞれが役割を発揮すべく、新たな協働の広がりを実感しています。

本格的な利用はまだもう少し先になりそうですが、木曜日の夕方は友季さんらしい過ごし方、リフトを使ってお風呂に入る練習が始まりました。新しい笑いがあふれます。

4月には国の報酬改定がおこなわれますが、優先すべきは「ねがい」その実現にこそ本来の制度設計（報酬）があるのだと信じます。

多くの支える職員、ボランティアスタッフが必要です。出来るだけ沢山のひとたちと、とびっきりの豊かさをめざして・・・それこそを拓かれた礎に、明るい北極星にしたいのです。 ぐたに ゆうじ

～第44次 国会請願署名・募金運動経過報告～

今年度は、コロナ禍の影響もあり、毎年、障害者週間に行っている、がんばるDAY（街頭署名）が行えず、仲間たちと一緒に地域の方々に、私たちの声を届けることができない状態にあります。しかしながら、前号に添付させて頂きました署名用紙が次々に戻ってきて、後援会員の皆様の温かさとともに、地域の繋がりを深く感じております。ご協力くださった皆さま、ありがとうございます。集約は5月初旬まで行っていますので引き続きよろしくお願い致します。

～集約状況～

署名数	134筆
募金額	27,100円

社会福祉法人 ハスの実の家 組織・地域づくり委員会 阿部 晃三

物品深謝

12月・1月 順不同お許しください

立田建設様、川端ようこ様、NPO法人 はあもにい永平寺様、西山政信様、江指農園様、和泉潔生様、上村商店様、社会福祉法人 足羽福祉会様、斉木孝一郎様、中道院様、有限会社ヨネクラ木工様、松岡屋呉服店様、リビングいづみ様

ご寄付深謝

12月・1月 順不同お許しください

ハスの実の会(後援会)	
東馬場広治様、小川清江様、松田直樹様、中路龍太郎様、匿名様	16,000円
ハスの実の家	
伊藤順治様	4,644円

新職員紹介

所属 生活介護事業 生活支援員
渡邊 雛乃



昨年度10月から紙すき班に所属しています。

福祉関係のお仕事は全く知識も資格もありませんが、ハスの実の家のなかまはとても優しく何でも教えてくれ、心強いです。

なかまの気持ちに寄り添い、積極的に関わっていききたいと思います。

これからもよろしくお願いします。

所属 ヘルパーステーションともに
森 久子



昨年2020年11月、ハスの実ヘルパーステーションともにの訪問ヘルパーに登録しました。週に2回ですが、あかつきの入居者さまの支援をさせていただくことになりました。病院等で高齢者の介護経験はありますが、ホームヘルパーとしては初めてなので「ともに」の支援センター、あかつきの職員さん達のご指導を受け頑張りたいと思います。よろしくお願いします。(シニアです)

所属 共同生活援助事業 世話人
小杉 聖捺



昨年度10月から友歌里ホーム世話人として働かせていただくことになりました。

福祉関係のアルバイトは全くの素人で、いつも友歌里の世話人さんや仲間にご支えていただけてとても楽しくお仕事をすることができています。

これからもご指導よろしくお願いします。

御礼と事業完了のご報告

この度、公益財団法人 車両競技公益資金記念財団様より、「美咲ホーム」の重度の障害のある人も利用できる浴室とトイレの改修費 11,198,000円のうち「令和2年度社会福祉施設等の整備に対する助成事業」から7,500,000円の助成を頂き、事業を無事に完了いたしました。心から御礼を申し上げますと共に、私たちはこのことを励みによりいっそう、どんなに障害が重くても、安心して地域の中に生活できる社会の実現に向けて努力してまいります。本当にありがとうございます。今後ともどうかよろしくお祈りいたします。

おたよりコーナー



後援会会員様よりご感想を頂きました。ありがとうございます。

毎回のお便りで、みなさんの活動を知り元気をいただいています。ありがとうございます。 O様

あっという間の1年でした。色々ありましたが、お互い来年は良い年でありますようにと心よりお祈り致します。

丸橋二三子様

広報紙で活動を知りました。皆様の熱意に心から敬意を送ります。少しでも足しになればと思ひ、入会させていただきます。(中略) 世界中が大変な事になっておりますが、小さな事でも幸せをみつけて楽しさに変えて人として生きていきたいと思っております。

K・O様

私がパン工房へボランティアで通った時から仲間のSさんは元気で優しい方でした。やめてから数年たちますが、パンを買いに行くとSさんの顔が見えるとホッとします。寒くなるから身体に気をつけてね。

児玉富久子様

ハスの実だより
あとがき



年始早々、3年ぶりの大雪に見舞われましたが、皆さんのところはご無事でしたでしょうか？ハスの実の家では、職員で雪かきをし、また地域の方にも助けていただきながらなんとか除雪することができました。2021年大変な幕開けとなりましたが、今年も仲間のいきいきとした表情をこのハスの実だよりでお伝えしていきたいと思えます。本年もよろしくお願ひいたします。

白崎 美樹

社会福祉法人
ハスの実の家

- 法人本部 理事長 櫻井 康宏
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744
Eメール: honbu@hasunominoie.com
- ハスの実の会(後援会)事務局(法人本部内)
Eメール: kouenkai@hasunominoie.com
- 共同生活援助事業
 - *「のぞみ」「あおぞら」「あかつき」「ステップハウス」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
Eメール: allhasunomi@hasunominoie.com
 - *「美咲ホーム」
〒913-0058 福井県坂井市三国町新宿 2丁目 2-18
電話・FAX(0776)97-8511
 - *「空と海」
〒913-0057 福井県坂井市三国町米ヶ脇 1丁目 4-3
電話・FAX(0776)81-4746
 - *「友歌里」
〒919-0628 福井県あわら市大溝 3丁目 15-17 102
電話・FAX(0776)73-3129
 - *「希陽(こはる)ホーム」
〒919-0628 福井県あわら市大溝 2丁目 25-1
電話・FAX(0776)73-5203
- 生活介護事業
 - *「のびのび広場」「はつらつ広場」
- 就労継続支援 B 型事業
 - *「わくわくワーク」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-19
電話(0776)78-7750 FAX(0776)78-7751
Eメール: wakuwaku@hasunominoie.com
 - *「ハスの実パン工房」
〒919-0621 福井県あわら市市姫 1丁目 608-2
電話(0776)73-7300 FAX(0776)73-7301
Eメール: pankoubou@hasunominoie.com
- 地域生活支援センター ハスの実
 - *「相談支援事業所 ハスの実」
 - *「ハスの実ヘルパーステーション ともに」
 - *「まちなかホーム事務所」
〒919-0628 福井県あわら市大溝 2丁目 25-1
電話(0776)73-3100 FAX(0776)73-3122
Eメール: center@hasunominoie.com

「ユニット型グループホーム」改修工事 「保健・文化交流センター」新設工事

～建設ご寄付深謝～

※順不同お許しください

三橋静枝様、中垣内美津江様、
鈴木敏幸様、ヤギカンバン株式会社様、
白谷美枝子様、内山秀樹様、
渡辺登美子様、山本美幸様、
木戸幸枝様、内田利勝様、
藤田久男様、慶宗寺様、
中道院様、鹿島温子様、
竹内八恵美様、竹内泰治様、
坪田和江様、松山章範様、
東馬場広治様、亀田真利子様、
和田富美代様、横内弥生様、
辻顕造様、森透様、
藤 共生様、日樽建設工業株式会社様、
古川真澄様、江指博幸様、
村田文彦様、竹林英子様、
芦野映子様、服部季子様、
くまっこクラブふくい様、長谷川三枝子様、
松川徹様、吉田朋子様、
武田淳子様、宝幢寺(佐々本泰秀)様、
上坂鈴子様、吉田圭吾様、
藤沢健様、黒川ふみ子様、
三橋正幸様、秦憲志様、
水野純子様

匿名 13 名様、955,000 円



今回は読者クイズはお休
みさせていただきます。
次号をお楽しみに!!

